

### B 個別学習

### B4 表現・制作

#### 学習の目標

iPadを使い始めて、「写真」をとることを体験した小学校2年生が、教室の中やまわりにあるものを「写真」にとり、「マークアップ」で絵を書きこんでキャラクターを作ってみる。



①教室の中や身のまわりにあるものの写真をとって書き込みをした例を先生が示してくれました。さて、これはなあに？



③教室の中にはいろいろなものがあります。空き缶や、時計、ほうき、鉛筆削りなど次々と撮影していきます。どんなキャラクターが現れるのでしょうか？



②先生の説明を聞いている間にApple PencilをiPadに差し込んでおくことで充電ができます。さらに、ペアリングをすることができます。



④Apple Pencilを使うと鉛筆の感覚で線を描いていくことができます。色もたくさん備わっていますので自分の思った色を使うことができます。

\* Apple PencilをiPadに差し込んでおくことで充電ができます。15秒の充電で30分の使用ができるとされています。

### 2021 伊那市ICT活用教育 小中学校カリキュラム

伊那市ではiPad内のAppをどの学年で体験したら良いかを「カリキュラム」として整理しています。これによって小学校から中学校までの間に無理なくAppを使いこなせるようになります。

これは、あくまで目安ですので先取りして活用しても問題はありません。

※ カリキュラムについては、「ICT活用教材DB」内「01伊那市のICT活用教育」をご覧ください。

美篤小学校 2年 藤澤眞弓先生と小林明日香先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました。



## 写真・マークアップ



### 「写真」アプリケーションを体験したら身近な物を題材に特徴をとらえましょう

写真アプリケーションの中にあるマークアップ機能を使えば、身の回りの物をキャラクターにすることができます。顔を描いたり、セリフや説明をつけたり、手描きでイラストを描き加えたりして、写真にストーリーを語らせてみましょう。

Apple Pencilは小学校の低学年でも鉛筆で描くように使えます。

- ① ペンの太さや濃さを調整できます。
- ② ペンの色を自由に選ぶことができます。
- ③ 消しゴムは「ピクセル」「オブジェクト」で消せます。
- ④ 定規を使うことができます。
- ⑤ 選択ペンで、カット・コピー・削除などができます。



## 授業をデザインするヒント

iPadを使って授業を工夫するためのヒントがたくさん紹介されているのが「キッズのためのクリエイティブなアクティビティ30」です。これをヒントに先生方がどう発想を広げるか、楽しみです。教師のみなさんに役立つ「ヒント30」と合わせて活用してみてください。AppleのHPにあります。DB内の「06iPad活用」にもありますのでぜひ一度ご覧になってください。